

令和3年度入学試験問題

地理歴史，公民

出題意図及び正答

問題1

出題意図

前近代におけるイスラーム世界の形成と拡大，近代におけるイスラーム世界の改革運動について正しく理解しているかを問うている。

正答

(1)	A=マラッカ B=バグダード C=カイロ D=キルワ
(2)	略
(3)	略
(4)	略
(5)	略

問題2

出題意図

日本の古代から中世における地方支配制度の整備過程と，幕末から明治維新期における支配体制の改革について理解し，史料の内容を的確に読み取りながら，正しく説明することができるかを問うている。

正答

(1)	ア=評 イ=受領 ウ=在庁官人 エ=下地中分 オ=半済令
(2)	略
(3)	略
(4)	版籍奉還
(5)	略

問題3

出題意図

Aでは地形図から地図記号を用いて地形や土地利用の様子を正確に読み取り、河成段丘の形成過程に関わる知識と理解を問うている。Bでは、北半球ユーラシア大陸における自然環境の違い、社会情勢やその背景について各国の発電割合を通して読み取れるかを問うている。

正答

(1)	
(2)	②
(3)	略
(4)	略
(5)	略

問題4

出題意図

現代世界の政治・経済に対するグローバル化の影響（プラス面・マイナス面）を正確に理解しているかを問うている。

正答

(1)	略
(2)	略

問題5

出題意図

ソクラテスにおける「対話」の倫理的意義についての理解、及び「他者」との対話をめぐるレヴィナスの思想についての理解をもとに、現代社会における「対話」の在り方について問うている。

正答

(1)	略
(2)	a=自己 b=全体性 c=他者 d=他性 e=無限 f=顔 g=応答 h=責任
(3)	略

問題6

出題意図

社会保障など公共財・サービスの性格をふまえた税の意義や各種税の特徴について，統計や諸資料をふまえて解答できるかを問うている。

正答

(1)	①=アと B ②=イと A ③=ウと C
(2)	略
(3)	略

令和3年度 入学試験問題（前期日程）
問題訂正

「地理歴史，公民」

【問題冊子】

■問題2（日本史B）

3 ページ A. 本文 第3段落 5行目

（誤） 「官吏」

（正） 「管理」

■問題2（日本史B）

4 ページ 史料2－1 3行目

（誤） 「事を命シ」

（正） 「事ヲ命シ」

■問題3（地理B）

5 ページ A. 図3－2

図の誤り

図3－2の地形断面図の距離（横軸）が、図3－1の地形図に示した地形断面測線位置(C)のものとずれている。

当該設問の取り扱いについて、慎重に検討した結果、当該設問受験者全員を正答とすることとした。

※詳しくはこちら

<https://www.shinshu-u.ac.jp/faculty/education/news/entrance/post-51.php>

■問題5（倫理）

9 ページ （1） 語群

（誤） 「門答法」

（正） 「問答法」

令和3年度入学試験問題

地理歴史，公民

(世界史B，日本史B，地理B，現代社会，倫理，政治・経済)

注 意 事 項

1. この問題冊子は試験開始の合図があるまで開いてはいけない。
2. 問題は「問題1」から「問題6」まで計6問である。この中から，世界史B，日本史B，地理B（問題1～問題3）のうち1問，現代社会，倫理，政治経済（問題4～問題6）のうち1問の計2問を選択して解答用紙に解答すること。なお，「問題1と問題3」のように，同一教科の中から2問の選択はできない。

出題教科・科目		問題番号	ページ	選択方法	計 2 問 選 択
地理 歴史	世界史B	問題1	pp.1-2	3問の中から1問を選択。	
	日本史B	問題2	pp.3-4		
	地理B	問題3	pp.5-7		
公民	現代社会	問題4	p.8	3問の中から1問を選択。	
	倫理	問題5	pp.9-10		
	政治・経済	問題6	pp.11-12		

3. 解答用紙は問題冊子とは別になっている。選択した問題1問につき，1枚の解答用紙を使用し，マスの中に^{おもて}表面から解答を始めること。
4. 解答用紙には，受験番号と選択した問題番号を記入欄に記入すること。受験番号の欄に，氏名を書いてはいけない。
5. 「(1)」「(2)」「①」のように，問題の下に設問が分かれているものについては，解答用紙の1マスを使い，その番号を記入してから解答すること。（例：A(1)①□□）
6. 字数が指定されている問題と設問については，その字数内で解答すること。数字は1文字につき1マスを使用すること。「。」と「，」も1マスとして数える。
7. この問題冊子と下書用紙は持ち帰ってもよい。

前期日程
地理歴史，公民
問題用紙 12 頁中 1 頁目

令和3年度信州大学教育学部入学者選抜試験

問題1（世界史B） イスラーム世界の歴史について，次の問いに答えなさい。

A. 図1-1を見て，（1）～（3）に答えなさい。

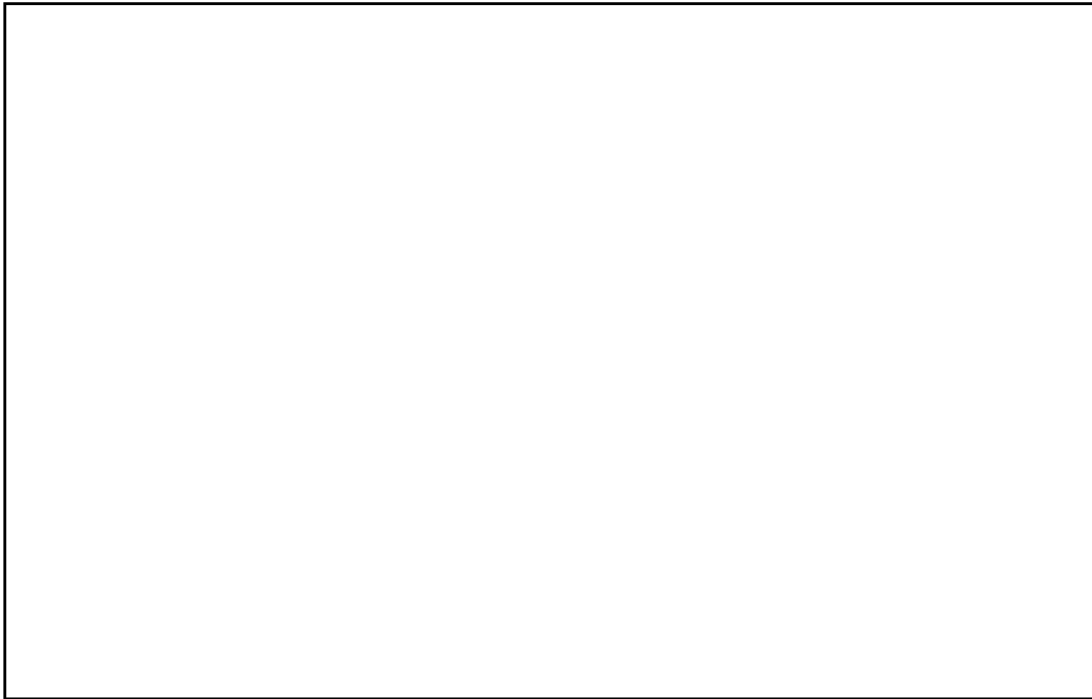


図1-1 中東からインド以遠への海上ルート

（出典：J.L.アブー・エルゴド著／佐藤次高[ほか]訳『ヨーロッパ覇権以前（上）』岩波書店，2001年より作成（一部改変））

（1）図1-1のA～Dの都市を，下記の語群からそれぞれ選びなさい。（例：A＝□□）

[語群]			
イスファハーン	カイロ	キルワ	トンプクトウ
バグダード	マニラ	マラケシュ	マラッカ

（2）11世紀から15世紀にかけて都市Cを拠点に活躍したカーリミー商人と呼ばれるムスリム商人のグループの活動について，図1-1に示された海上ルートを通じて交易された商品に注目して75字以内で説明しなさい。

（3）図1-1の都市A～Dを中心とする地域に8世紀から15世紀に生じた経済的および文化的な変化について，次の語句を用いて200字以内で説明しなさい。各語を少なくとも1回は使用し，下線を付すこと。

[語群]		
スワヒリ語	隊商宿（キャラバンサライ）	明

前期日程

地理歴史，公民

問題用紙 12 頁中 2 頁目

令和 3 年度信州大学教育学部入学者選抜試験

B. 近代のイスラーム世界では、「宗教」「民族」「領土」をめぐって、どのような形で近代国家をつくるべきかが模索された。そこで次の史料 1-1 を読み、(4) ~ (5) に答えなさい。

史料 1-1

(ア)

(オスマン帝国憲法[ミドハト憲法] 1876 年 12 月 23 日公布)

(イ)

(「幻想」『固き絆』誌¹⁾ 1884 年 9 月 25 日号論説)

(ウ)

(ユスフ・アクチュラ²⁾ 『三つの政治路線』1904 年刊)

(出典：歴史学研究会編『世界史史料 8 帝国主義と各地の抵抗 I』岩波書店，2009 年より作成（一部改変）)

(注) 1) イラン生まれのアフガーニーがエジプト人ムハンマド＝アブドゥフとともにパリで刊行した雑誌。

2) ロシア生まれのトルコ系ムスリム知識人。

(4) 史料 1-1 の (ア) ~ (ウ) にみられる考え方を計 100 字以内 で説明しなさい。

(5) 史料 1-1 の (ア) ~ (ウ) にみられる考え方がイスラーム世界に与えた影響について、次の語句を用いて 200 字以内 で説明しなさい。各語を 少なくとも 1 回 は使用し、下線を付す こと。

[語群]

青年トルコ革命 タバコ＝ボイコット運動 帝国主義

令和3年度信州大学教育学部入学者選抜試験

問題2（日本史B）

A. 古代～中世における地方支配に関する次の文章を読み、以下の（1）～（3）の問いに答えなさい。

律令国家の地方支配体制として、国・郡・里（のちに郷に改める）が組織された。このうち郡は、かつてのヤマト政権の地方官である国造などの地方豪族の支配領域がもとになっている。郡に先立つ行政組織として、が各地に設置されたことが、7世紀代の木簡などから判明している。国・郡を統治するために、国には中央から国司が派遣され、郡司には伝統的な地方豪族が任命され、(a)各地の役所には多数の官吏が勤務していた。

10世紀以降、律令体制の行き詰まりにより税の徴収が困難になったことを受け、政府は一定額の租税の納入を国司に請け負わせて、国内統治を委ねるようになった。この国司の最上席者のことをと呼ぶ。

12世紀後半、源頼朝によって諸国に守護が、荘園や公領には地頭が設置された。守護は地方国衙の実権を握るへの命令権を行使し、しだいに国衙支配を進めていった。ただし、朝廷や貴族・大寺社を中心とする荘園領主の力も健在であり、(b)公武の二元的な支配体制が続くこととなった。承久の乱後には、畿内・西国地方にも地頭が進出し、地頭に荘園の官吏を一任して一定額の年貢納入のみを請け負わせる地頭請所や、土地自体を折半して領主と地頭が相互の支配権を認め合うを通して、荘園への支配権を拡大していった。

南北朝の動乱のなかで、室町幕府は各国の武士たちを統率するため、守護の権限を拡大した。幕府は軍費調達を目的として、守護に一国内の荘園・公領の年貢の半分を徴発する権利を認めるを発布した。この利を得て、なかには一国全体におよぶ地域的支配権を確立し、守護大名に成長する者もあらわれた。

(1) ～に入る語句を漢字で答えなさい。（例：ア＝□□）

(2) 下線部(a)に関連して、長野県千曲市の屋代遺跡群¹⁾から、「子曰學是不思」²⁾と記された木簡が出土している。この木簡が示す古代の地方官吏の実態について、75字以内で説明しなさい。

(注) 1) 発掘調査で多数の木簡が出土したことから、遺跡群内あるいはその周辺に信濃国の官衙（役所）が存在したと考えられている。2) 『論語』為政篇に「子曰、学而不思則罔。」とあり、この木簡はこの一節を手習いとして書いたものと推定されている。

前期日程
地理歴史，公民
問題用紙 12 頁中 4 頁目

令和 3 年度信州大学教育学部入学者選抜試験

(3) 下線部(b)の具体的な内容を，次の語句を用いて 100 字以内で説明しなさい。ただし，各語は少なくとも 1回は使用し，下線を付すこと。

[語群]
国衙 荘園領主 朝廷

B. 明治政府の中央集権化政策に関する次の史料 2-1 を読み，以下の (4) ~ (5) の問いに答えなさい。

史料 2-1

(『法令全書』)

(注) 1) 万民。2) 意見や願いなどを聞き入れること。3) 嘆かわしく思う。

(出典：東京大学史料編纂所編『明治維新史料選集 下 明治編』東京大学出版会，1972 年より (一部改変))

(4) カにあてはまる語句を漢字で答えなさい。

(5) 江戸幕府の滅亡から，史料 2-1 の政策が実行されるにいたるまでの歴史的過程について，その政策の意図を明らかにしたうえで，次の語句を用いて 400 字以内で説明しなさい。ただし，各語を少なくとも 1回は使用し，下線を付すこと。

[語群]
王政復古 家禄 五箇条の誓文 幕藩体制

前期日程

地理歴史，公民

問題用紙 12 頁中 5 頁目

令和 3 年度信州大学教育学部入学者選抜試験

問題 3 (地理 B)

A. 次の図 3-1, 図 3-2 を見て, 以下の (1) ~ (3) に答えなさい。

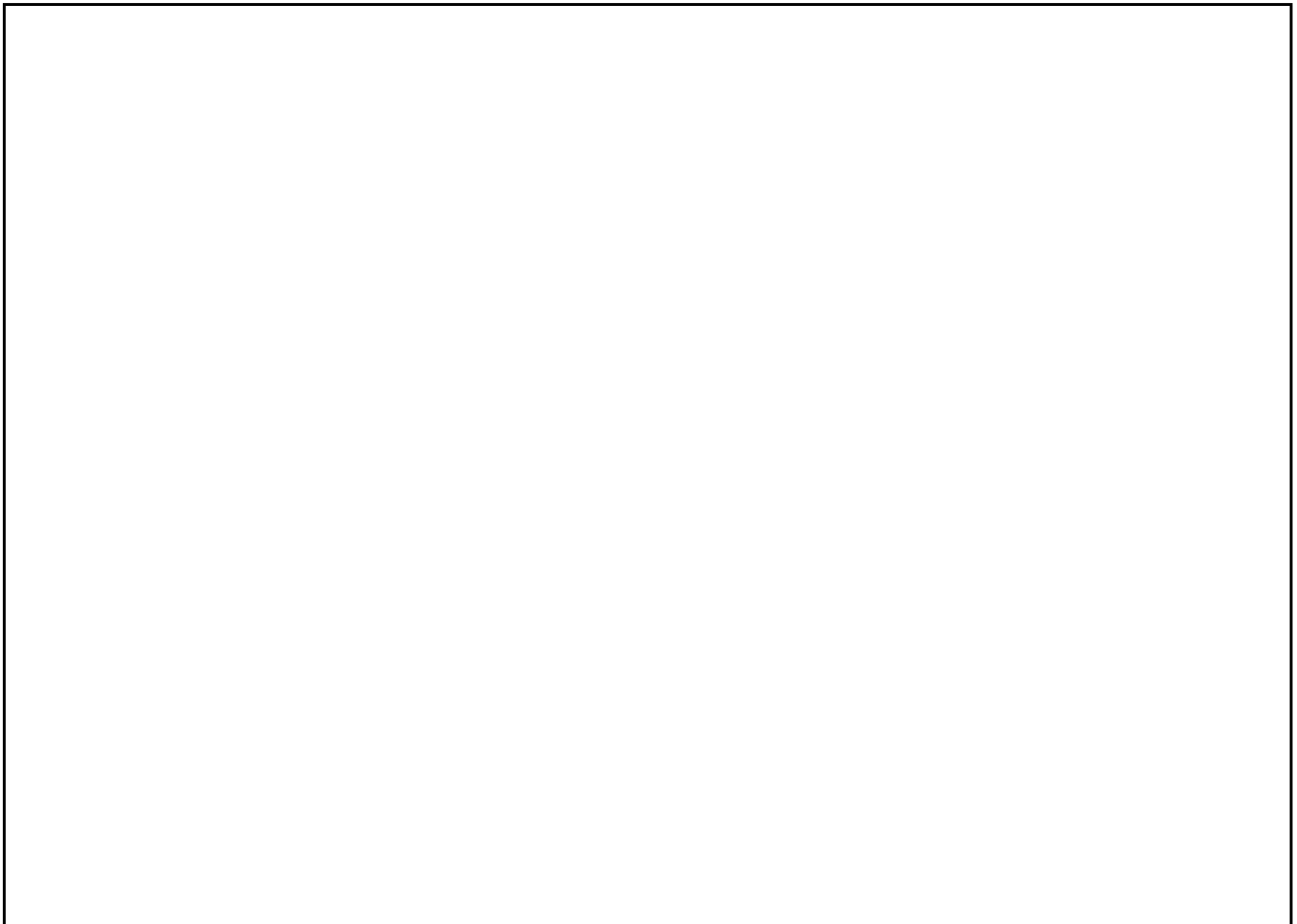


図 3-1

(出典：国土地理院地形図 1：25000 「大割野」 2014 年発行より (一部改変))



図 3-2 地形断面図

前期日程

地理歴史，公民

問題用紙 12 頁中 6 頁目

令和 3 年度信州大学教育学部入学者選抜試験

- (1) 図 3-2 は，図 3-1 中の線 a~d のいずれかにおける地形断面である。この地形断面を示す線として最も適当なものを，a~d から一つ選びなさい。
- (2) 図 3-1 のア~エ付近に見られる地形や土地利用の特徴について述べた文として適当でないものを，次の①~④から一つ選びなさい。

- ①ア付近には電波塔が見られる。
②イ付近は現河床とほぼ同じ高さの氾濫原であり，広く水田として利用されている。
③ウ付近には開析された谷があり，谷沿いは水田として利用されている。
④エ付近は河成（河岸）段丘面であり，地下水が深く，畑や林地として利用されている。

- (3) エ付近に見られる地形の形成過程について，次の語句を用いて 150 字以内で説明しなさい。ただし，各語を少なくとも 1 回は使用し，下線を付すこと。

[語群]

河川 気候変化 砂礫 隆起

- B. 次の図 3-3，図 3-4，図 3-5 を見て，以下の (4) ~ (5) に答えなさい。



図 3-3

前期日程

地理歴史，公民

問題用紙 12 頁中 7 頁目

令和 3 年度信州大学教育学部入学者選抜試験



図 3-4 河川の年間総流量に占める月別流量 (%)
(出典：The Gloval River Discharge Database より作成)

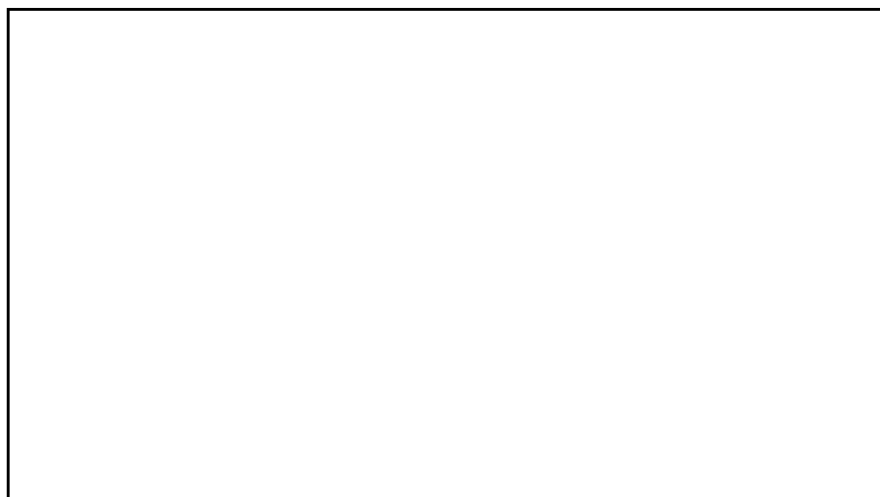


図 3-5 世界の主な国の電源別発電割合

(出典：『データブックオブ・ザ・ワールド 2019 年版』二宮書店，2019 年より作成)

- (4) 図 3-4 は河川の月別流量割合を示したものであり，e~h は図 3-3 中のカ~ケのいずれかに該当する。e~h とカ~ケとの正しい組み合わせを答えなさい。(例：e=□□)
また，その理由を合計 200 字以内で説明しなさい。
- (5) 図 3-5 中のサ~セは，ロシア，日本，スウェーデン，フランスの電源別発電割合を示したものである。サ~セのそれぞれに該当する国名を選びなさい。(例：サ=□□)
また，その理由を合計 100 字以内で説明しなさい。

前 期 日 程

地理歴史， 公民

問題用紙 12 頁中 8 頁目

令和3年度信州大学教育学部入学者選抜試験

問題4（現代社会）

次の（1）～（2）に答えなさい。

（1）グローバル化とは何か，50字以内で説明しなさい。

（2）現代世界の政治・経済におけるグローバル化の光（プラス面）と影（マイナス面）について，次の語句を用いて400字以内で説明しなさい。ただし，各語を少なくとも1回は使用し，下線を付すこと。

[語群]

移民 格差 新自由主義 先進国 途上国 貧困 貿易 G20

前期日程

地理歴史，公民

問題用紙 12 頁中 9 頁目

令和3年度信州大学教育学部入学者選抜試験

問題5 (倫理)

次の(1)～(3)に答えなさい。

- (1) ソクラテスが行った「対話」について、次の語句を用いて 200 字以内で説明しなさい。
ただし、各語を少なくとも 1 回は使用し、下線を付すこと。

[語群]

助産術 門答法 無知の知

- (2) 次の文章の空欄に入る語句を選びなさい。(例：a=□□)

ナチスによるホロコーストを経験したエマニュエル・レヴィナスによれば、西洋の思想は (a) を基盤としてすべてを捉え、すべてを (a) に同化しようとする (b) の立場を生み出した。しかし、(c) は (a) とは根本的に異なり、(a) の理解を超えた (d) である。それゆえ (c) は (a) による同化を拒む、圧倒的な重みをもつ存在であり、その意味で (c) は (e) である。さらに、(c) は (a) に対して訴えかける (f) として迫り、(g) を求める。それゆえレヴィナスは、(a) は (c) からの呼びかけに (g) する (h) を負い、この (h) を果たすことによって、(b) の立場を脱し、(c) を尊重することになると主張する。

[語群]

応答 顔 自己 責任 全体性 他者 他性 無限

前期日程

地理歴史, 公民

問題用紙 12 頁中 10 頁目

令和3年度信州大学教育学部入学者選抜試験

- (3) 次の資料5-1を読んで、「ソクラテス」あるいは「レヴィナス」の立場から 200 字以内で論評しなさい。解答の際には、1 行目に「ソクラテス」または「レヴィナス」と明記し、2 行目から論評を記述しなさい。

資料5-1

(出典：『朝日新聞（長野版）』2020年5月9日25面より（一部改変）)

前 期 日 程
地理歴史; 公民
問題用紙 12 頁中 11 頁目

令和 3 年度信州大学教育学部入学者選抜試験

問題 6 (政治・経済)

税について、以下の (1) ~ (3) に答えなさい。

- (1) ①消費税, ②所得税, ③法人税の各税について、該当する推移のグラフを図 6-1 のア~ウ, 説明文を A~C から、それぞれ選んで答えなさい。 (例: ⑤=エと D)

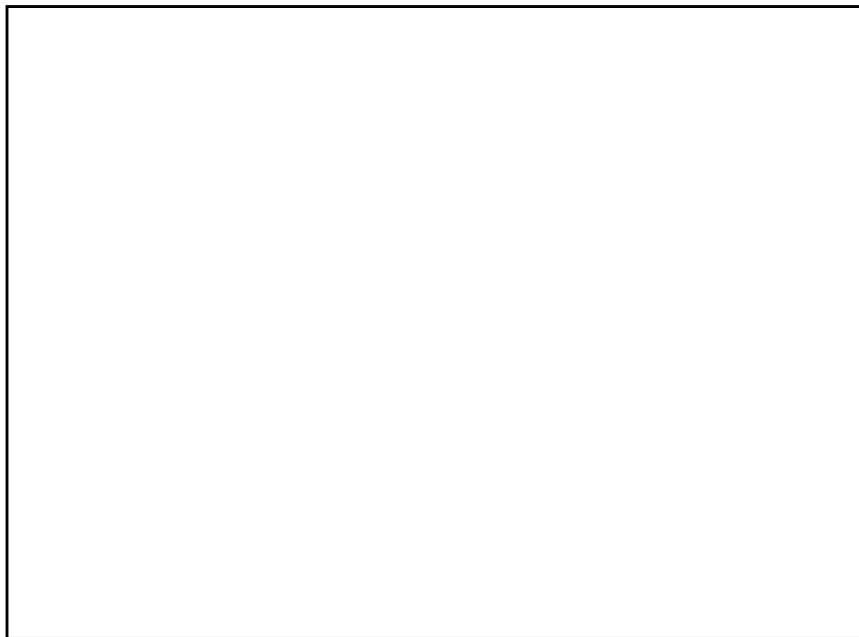


図 6-1 日本の財政の主要な歳入額の推移

(出典: 財務省 「毎年度の予算・決算」(2020 年閲覧) より作成 (一部改変))

(注) 2018 年度以前は決算額, 2019 年度は補正後予算額, 2020 年度は予算額。

[説明文]

A

B

C

(出典: 財務省 『これからの日本のために財政を考える』2020 年より (一部改変))

前 期 日 程
地理歴史， 公民
問題用紙 12 頁中 12 頁目

令和 3 年度信州大学教育学部入学者選抜試験

(2) 次の福沢諭吉の言葉をふまえて，公共財・サービスの性質と「租税法律主義」の関係について，200 字以内で説明しなさい。

(出典：福沢諭吉『学問のすゝめ』岩波文庫，1978 年より（一部改変）)

(3) 社会保障費の財源としては何を中心とするのが妥当と考えられるか，(1) (2) の資料および図 6-2，図 6-3 を使って，あなたの考えを 400 字以内で述べなさい。

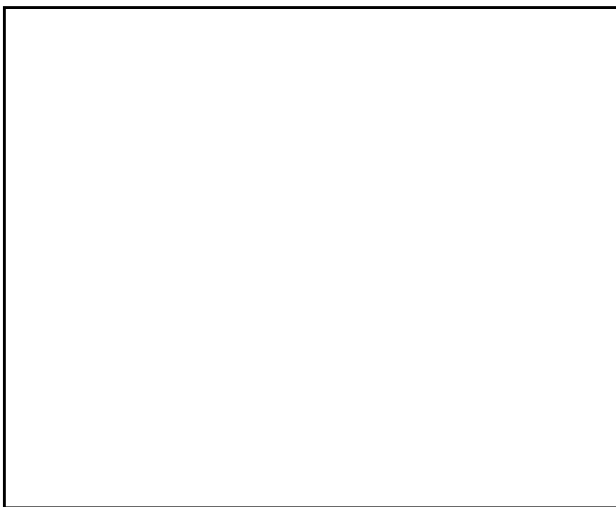


図 6-2 主な社会保障支出財源の推移

図 6-3 日本の年齢層別人口予測

(出典：国立社会保障・人口問題研究所「社会保障費用統計」「将来推計人口・世帯数」(2020 年閲覧)より作成)

